

【ご案内】MSCI指数の構成国の変更について

■MSCI指数の構成国の変更について

MSCIが市場分類レビューを発表し、アルゼンチンについては新興国市場からの除外が決定され、パキスタンについては新興国市場からの除外について検討が開始されております。

MSCIは、国別の指数算出国を「先進国市場」、「新興国市場」、「フロンティア市場」の3つの市場に分類し、「経済発展基準」「市場規模・流動性基準」「市場アクセス」の3つの基準に基づき分類を実施し、適宜見直しを実施しています。

新興国市場に分類されるためには、3つの基準のうち「市場規模・流動性基準」「市場アクセス」の2つで一定の基準を満たしていることが求められています。

●アルゼンチン

新興国市場からスタンダードローン市場*に市場区分が変更され、2021年11月に新興国指数からの除外が実施される見込みです。なお、新興国指数への組入れ比率は約0.12%です。

【変更理由】

アルゼンチンの株式市場では2019年9月から資本規制が課されており、新興国指数の条件である「市場アクセス」を満たしていないと判断されたため。

●パキスタン

新興国市場からフロンティア市場への市場区分変更について検討が開始されました。検討結果は2021年9月7日に発表される予定で、変更があった場合は2021年11月に新興国指数からの除外が実施される見込みです。なお、新興国指数への組入れ比率は約0.02%です。

【変更理由】

パキスタンの株式市場に上場する銘柄に、新興国指数の組み入れ基準として設定された規模・流動性の水準を満たす銘柄が存在しないため。

*先進国、新興国、フロンティア市場のいずれにも分類されない(=フロンティア市場未満の)市場に対する区分。